

奥沢グリーンマップについて

ふだん歩くところは、買い物に行く道など、意外と決まったところばかりかもしれません。奥沢グリーンマップを片手にちょっと足をのばし、奥沢の魅力を再発見してみませんか？グリーンマップは、世界共通のグリーンマップ・アイコン（絵文字）を使い、身近な環境を表した地図です。樹木などの「緑」ばかりでなく、「歴史」や「生活」といったテーマも含み、地域に住んでいる人たちが自ら作るのが特徴です。

奥沢グリーンマップを作った「土とみどりを守る会」は、風景づくり条例に基づく「風景づくり団体」として、「かいわい宣言」の登録など、奥沢の住環境を守り育てるための活動をしています。1998年の設立時に世田谷まちづくりファンドの助成を受け、現在は会員組織（現会員数約150名）として、ニューズレターの発行など、様々な地域の交流に取り組んでいます。詳しくは会のホームページをご覧ください。

<http://urbanecology.jp/okusawa>

奥沢グリーンマップは、情報を更新していきますので、掲載されていない情報、ご質問、ご意見などは土とみどりを守る会事務局に、電子メール、ファクス、郵便かお電話でお寄せ下さい。再販までの追加情報は、随時ホームページに掲載しますので、ご覧ください。

土とみどりを守る会

158-0083 世田谷区奥沢 2-41-2
電話・ファクス：03-3718-8558（柳島）
電子メール：horuchi@tamabi.ac.jp（堀内）

企画・取材：土とみどりを守る会
制作：多摩美術大学デザイン学科 堀内研究室
助成：世田谷区地域コミュニティ活性化支援事業
協力：玉川まちづくりハウス



奥沢の歴史

徳川時代、「武州荏原郡世田谷領奥沢村」と呼ばれた一帯は、南側を多摩川の河岸段丘、北側をその台地に挟まれた丘陵地で、湧き水が多い湿地でもありました。旧奥沢村に1662年（寛文2年）より開墾された奥沢新田村が加わり、下図の範囲が奥沢村となりました。「奥沢」という地名は、世田谷の七沢…代沢、松沢、北沢、引沢、駒沢、深沢、奥沢のうち、最も奥まっっているところから名付けられたものです。

明治4年に奥沢は東京府の管轄となります。この当時の人口は811名でした。大正時代までは、水がわき出る湿地や田んぼが広がり、サギが飛び、川や池や沢にはフナ、ドジョウ、ダボハゼ、ナマズ、メダカが棲み、麦畑ではヒバリの声が聞こえる、のどかな田園地帯でした。現在の奥沢2丁目のあたりは、「沖ノ谷」と呼ばれていましたが、明治21年の市制及び町村制公布により、奥沢村に編入されました。



昭和30年代の九品仏池。九品仏と八幡中学校の間には池があり、ボートが浮かぶ憩いの場所でしたが、渋谷東急文化会館建設時の残土で埋められて、住宅地になりました。（写真提供：安藤嘉信氏）



大正6年頃、渋沢栄一によって田園調布が拓かれて以来、田園都市会社が奥沢一帯の宅地開発にも乗り出してきました。大正12年の関東大震災後には多くの人が下町から移住し、鉄道の開通とともに、農村から住宅地にいち早く変わりました。まず、大正13年に目蒲線が開通、そして東京横浜電鉄は昭和2年に渋谷駅まで延長され、線名が東横線となりました。続いて昭和4年に大井町線が二子玉川駅まで開業し、現在の足の便が確保されました。

奥沢は虎ノ門の海軍省と横須賀軍港に交通の便が良いので、海軍士官らが居住を希望しました。原氏が現奥沢2丁目のあたりを区画整理し借地として提供し、約30世帯の主計関係の海軍士官が集住したので、海軍村と呼ばれました。田園都市会社が田園調布に隣接する奥沢の土地の区画整理を行い、その部分は昭和7年の世田谷区成立の際に、玉川田園調布となりました。



上は、昭和20年代の奥沢7丁目あたりの九品仏川。水辺には鶯草が咲いていたことでしょう。

歴史あり

A1・B2 禁銃猟碑 奥沢 7-40・7-35・7-34
このあたりがまだのどかな田園地帯であった明治時代、銃猟を禁ずるため、警視庁が石工に作らせた。

B1 奥沢城跡 奥沢 7-41-3（浄真寺境内）
世田谷城の支城として築かれた、中世武士の屋敷跡。天正の末期に廃城となり、浄真寺が開山された。境内には奥沢城主の説話が残る鶯草園がある。

B1 浄真寺（九品仏） 奥沢 7-41-3
三つの仏堂に三体ずつ安置された九体の阿弥陀如来像から、九品仏（くほんぶつ）と呼ばれる。西側の仏堂に対し、東側の本堂は現世を表す。浄土宗。

B3 奥沢台遺跡 奥沢 6-17
約5000年前の竪穴式住居跡で、多摩川沿いの丘陵につくられた集落群の一つ。諏訪山まで続く。

C2 鶯草の里碑 奥沢 7-4
かつて九品仏川沿いの湿地に多く自生していた、鶯草にまつわる碑。鶯草は世田谷区の花でもある。

C3 道しるべ地蔵 奥沢 5-9-5
ここから九品仏への道は「奥沢七曲り」と言われるほど分かりづらく、その案内のため作られた。

C3 ほまれの桜跡 玉川田園調布 2-17-15
日露戦争帰還者が八幡小学校校庭に記念植樹し、昭和33年、新校舎建設時に伐採された桜の碑。

D2 奥沢神社 奥沢 5-22-1
旧八幡神社。奥沢城主が戦術拠点として勧請した。八幡小学校は明治12年にここに寺子屋として開校、後に現在地に曳家され移転した。秋の「厄除の大蛇お練り」は区の無形民俗文化財である。

D3 豊川稲荷 奥沢 5-3-1
石の垣根に、建てた人々の職業が彫られている。

D3 火の見やぐら跡碑 奥沢 5-6-13
大正時代に編成された、玉川組消防第二部のもの。

D4 丸山稲荷 奥沢 3-10-6
このあたりは丸山と呼ばれていた。初めは屋敷稲荷だったが、後に商店街が祀る。初午に餅つきあり。

E1 ドイツ村跡 奥沢 2-45 のあたり
ドイツ滞りの原熊吉氏がドイツ風の家を建造、以後近隣に洋館が建てられた。建物は残っていない。

E2 海軍村跡碑 奥沢 2-33-14
関東大震災後、このあたりに多くの海軍士官らが集住したので、海軍村と呼ばれた。今でもその子孫が住み続け、当時の姿を伝える住宅も残る。

E3 道祖神 奥沢 3-20-17
安全を願い祀られる神。他に庚申塔（中国伝来の庚申信仰による石塔）が二つ建てられている。

E3 源照寺 奥沢 3-26-7
曹洞宗の寺。昭和11年、奥沢4丁目に東円教会が開かれ、昭和23年に源照寺が開山された。

E3 諏訪山遺跡碑 奥沢 3-43-13
諏訪山通りの両側から縄文時代中ごろの竪穴住居が発見され、土器が掘り出された。

F3 大音寺 奥沢 1-18-3
江戸中期に建立された、浄土宗の寺。本尊は阿弥陀如来。門の脇には保存樹木の黒松の大樹がある。

F3 横穴墳 奥沢 1-27-4
古代の墓で、奥沢台地が東側の呑川に傾斜する所にある。昭和3年、横穴から人骨二体が発見された。

F3 愛宕塚 奥沢 1-27-9
奥沢台地で最も高く、愛宕山と呼ばれていた古墳。

F4 奥沢本村由来碑 奥沢 1-6-13（大音寺墓地内）
和田義盛の8代目朝清が、元亀元年荏原の里に移住、江戸中期にこの地域を奥沢本村と称した。

F4 子安稲荷神社跡 奥沢 1-11-12
奥沢本村の氏神を祀った神社跡。明治42年に八幡神社（現奥沢神社）に移祀された。現在は公園。

すぐれた街並み

A3 校門前の庭園 奥沢 8-1-16
小学校前の車寄せに作られた、灯籠や子鹿の像のある楽しい庭園。敷地内に多くの保存樹木がある。

B2 生け垣と庭園 奥沢 7-20-13
よく手入れされた連続した生垣と日本庭園。電車の窓や駅のホームからもよく見える。

B3 ばらの生け垣 玉川田園調布 2-13-10
ばらの季節には、高い生け垣が花でおおわれる。

C3 民家のレストラン 奥沢 6-19-6
民家を使ったレストラン。庭には大きな桜がある。

C3 雑木風の植樹帯 玉川田園調布 2-13-1
地域の人々が気持ちよく過ごせるようにとの思いを込めてつくられた、雑木林のような寄せ植え。

C3 お店のある庭 玉川田園調布 2-12-8
パテ屋と住宅を活かした自然食レストランが庭を囲み、落ち着いたコミュニティ空間となっている。

C3 石垣と庭園 玉川田園調布 2-12-5
庭園と共に整備された、存在感のある石垣。

C4 お花畑 玉川田園調布 1-8-11
空き地が、花の季節には美しいお花畑となる。

C4 連続した生け垣 玉川田園調布 1-11-7
街区全体を取り囲む、かなめもちの生垣が美しい。

C4 庭園を囲む集合住宅 玉川田園調布 1-12-15
住宅の庭園が通りに開かれた良い景観。

D2 広大な庭のある家 奥沢 5-17-15
余裕ある風景が、街並みに落ち着きを与えている。

D3 洋館とばらの生垣 奥沢 4-21-8
縦長の窓のリズムが快い洋館。道路沿いの植え込みのバラと建物の調和が美しい。

D3 半切妻屋根の洋館 奥沢 4-22-11
半切妻という、特徴的なかたちの屋根をもつ洋館。

D3 連続した生け垣 奥沢 4-23-16～5
3軒にまたがり約100m連続する、美しい生け垣。

D3 個性的な洋風住宅 奥沢 4-29-14
個性的なデザインの車庫、落ち着いた風合いの洋風住宅が庭の木立と調和し、年齢を感じさせる。

D3 緑化されたカーポート 奥沢 4-7-13
小振りの植栽、屋上緑化、透水性ブロックなどを組み合わせ、余裕の無い敷地を緑化した優良事例。

D3 弁慶桜のある家 奥沢 5-7-3
風流な日本的な庭園と野趣を覚える木立の景観が印象深い。赤と白の二色に咲く弁慶桜がある。

D3 3階建ての洋館 奥沢 5-10-13
古い木造3階建ては、当時はモダンな存在だったはず。ピアノ教室として使われている。

E2 シュロと和風住宅 奥沢 2-30-5
和風の住宅として70余年の時を刻む。戦前に流行した、5本のシュロの木と共に風格がある。

E2 開かれた庭園 奥沢 2-32-6
街路に向かって修景された、花いっぱい庭園。

E2 旧海軍村住宅1 奥沢 2-33-2
輸入された屋根瓦、下見張りの外壁、「桜にいかり」の玄関扉の装飾の他、内部も大正時代の風情を残している貴重な住宅。「読書空間みかも」として、催しや教室が開催されている。☎ 3718-2011

E2 旧海軍村住宅2 奥沢 2-33-15
低い軒高の屋根、下見張りの外壁、玄関周りの意匠は、質素で堅実な大正時代の風格を今に伝える。

E2 旧海軍村住宅3 奥沢 2-32-16
稀少となった多摩川の玉石を使った門柱や玄関の意匠が時代の特徴を伝える。自然な生垣も貴重。

E3 立派な石垣 奥沢 1-30-8
大きな切石の石垣が、街並みに風格を与えている。

E3 大屋根の洋館 奥沢 1-55-1
おおらかな切妻屋根が、戦前の風情を感じさせる。

E3 緑青屋根と庭園 奥沢 3-18-3
家屋と塀の意匠、手入れされた日本庭園が美しい。

E4 緑豊かな住宅 奥沢 1-12-10
駅から斜めにのびる道の突きあたりに、豊かな緑景観を形成している。玄関前のもみじも美しい。

E4 生け垣で囲まれた集合住宅 奥沢 3-4
まわりを良く手入れされた生け垣が取り囲む。

F3 しらかしの防風林 奥沢 1-21-6
独特の防風林が屋敷の入口を特徴づけている。

まちづくり関連

B2 九品仏地区会館 奥沢 7-34-3
☎ 3702-1636（地域振興課）

C3 玉川まちづくりハウス
玉川田園調布 2-11-10 ☎ 3721-8699

C3 九品仏あんしんすこやかセンター
（デイホーム玉川田園調布）
玉川田園調布 2-16-12 ☎ 3722-7881

D2 奥沢東地区会館 奥沢 2-9-28
☎ 3702-1636（地域振興課）

E2 土とみどりを守る会 事務局
奥沢 2-41-2 ☎/F 3718-8558（柳島）

E2 奥沢交和会会館 奥沢 2-18-4
☎ 3718-8625

E3 奥沢区民センター 奥沢 3-47-8
☎ 3720-1973

E4 奥沢まちづくり出張所 奥沢 3-5-7
☎ 3720-3111

F2 奥沢あんしんすこやかセンター
（デイホーム奥沢）
奥沢 2-23-1 ☎ 5726-3511

美術館 アートギャラリー

A2 富田通雄アトリエサロン 奥沢 8-28-17
☎/F 3701-6998・3703-8030

B1 自由が丘美術館 奥沢 7-13-11
☎ 3704-3860

C2 宮本三郎記念美術館 奥沢 5-38-13
☎ 5483-3836

C2 もみの木画廊 奥沢 6-33-14-201
☎ 3705-6511

C3 ガレリア・アビターレ
玉川田園調布 2-13-1 ☎ 5483-3335

D2 スペースサトウ 奥沢 2-11-3
☎ 3723-9612

D3 ギャラリー澄光 奥沢 4-27-12
☎ 3748-2781

E2 ギャラリー品品 奥沢 2-35-13
☎ 3725-0303

すばらしいながめ

A1 ねこじゃらし公園 奥沢 7-42
原っぱ風公園からながめる空や夕焼けが美しい。

E2 富士見橋 奥沢 2-4・3-42
空気が澄んだ日には、富士山がよく見える。

駐輪場

B2 九品仏南自転車等駐輪場 奥沢 6-25-9
☎ 5706-9455

C2 自由が丘第一自転車等駐輪場 奥沢 5-42
☎ 3722-7371

D3 東急奥沢駐輪場 奥沢 2-9-20
☎ 3838-1636